

六月十八日

「ホタテの日」

学校給食へホタテ贈呈

さて、本県の最重要魚種である青森ホタテの消費拡大をより一層促進するために、青森県漁業協同組合連合会とむつ湾漁業振興会では平成十年度に毎年六月十八日を「ホタテの日」と制定致しました。

これの記念行事として、両団体は青森市内の小・中学校にボイルホタテートン（二万七千五百食分）約百万円相当を寄贈するため、青森市役所で佐々木市長に目録を手渡した。

むつ湾漁業振興会三津谷会長は「昨年はホタテの大量へい死などで大変な年だったが、今年は順調に生育している。将来を担う子供達へむつ湾ホタテの美味しさを知っていただきたい」と述べた。

佐々木市長は「地元産業に対する学習の機会を与え、子供達の教育に大変有意義であり、給食センターでおいしく調理して子供たちへ食べさせます」と話し、両団体へ感謝状を贈った。市教育委員会では、寄贈されたボイルホタテを市内小・中学校へコンソメスープやチャウダー、チリソース煮などに調理して配食する計画。



佐々木市長へ目録を手渡すむつ振三津谷会長



佐々木青森市長へホタテ贈呈をするむつ振役員



佐々木市長から感謝状を受ける県漁連後藤専務